



「萬來舎」は1876（明治9）年に三田山上にできた慶應義塾中のサロン。残念ながら、戦災で焼失してしまいましたが、その後も新たな建物・施設などにこの名称が継承され、その精神を引き継いできました。このコーナーではその名前の由来「千客万来」にちなみ、さまざまなお知らせや記事を掲載しています。

萬來舎

KEIO TECHNO-MALL 2023（第24回慶應科学技術展）

慶應義塾先端科学技術研究センター（KLL）では、研究成果の発信の場として、毎年12月に東京国際フォーラムにおいてKEIO TECHNO-MALL（慶應科学技術展）を開催しています。本年度は「新たな^{じんかんこうざい}コラボレーションを創出する『人間交際』の場〜大変革時代におけるチャンスとチャレンジ〜」をテーマに、産官学連携を通じて研究成果の社会実装による貢献や独創的な研究成果によるイノベーションの創出を目指します。研究成果の紹介のほか、研究者によるショートプレゼンテーションや、

ゲストスピーカーを招いてのトークセッションなども開催します。

日時：12月15日（金）10：00～18：00

※一部の内容については事前公開の予定あり

主催：慶應義塾先端科学技術研究センター（KLL）
（理工学部・大学院理工学研究科・医学部）

会場：東京国際フォーラム

URL <https://www.kll.keio.ac.jp/ktm/>

SFC 万学博覧会

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC）最大の研究発表イベント「SFC Open Research Forum（ORF）」をはじめ、「オープンキャンパス」「藤沢市民講座」などのさまざまなイベントを博覧会の名の下に集結させた「SFC 万学博覧会」を今年度初めて開催します。多様な教育・研究を実践するSFCの「万学」をご覧ください。



日時：11月25日（土）、26日（日）※要事前登録

会場・主催：慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス

URL <https://expo.sfc.keio.ac.jp/2023/ja/>

第28回慶應医学賞受賞者決定

慶應医学賞は、毎年、世界の医学を中心とした諸科学の発展に寄与する顕著、かつ創造的な研究業績を挙げた研究者を顕彰しています。医学部卒業生である故坂口光洋氏の寄付をもとに設立された、国内の大学において他に類を見ない顕彰制度です。

今年の実賞者は右の通りです。授賞式と受賞記念講演会につきましては11月9日（木）に開催予定です。詳細は、決まり次第「慶應医学賞」Webサイトに順次掲載いたします。

URL <https://www.ms-fund.keio.ac.jp/prize/>



海外受賞者

ナポレオン フェラーラ 博士

カリフォルニア大学サンディエゴ校 教授
「血管新生の分子基盤の解明と臨床応用」



国内受賞者

森 和俊 博士

京都大学大学院理学研究科 教授
「小胞体ストレス応答の分子機構の解明」

第39回留学生による日本語スピーチコンテスト

慶應義塾で学ぶ留学生が日本の文化、社会をどのように見ているのか、そして母国と比較して、どのような違いや新たな発見があったのかなどを日本語でスピーチします。今年のコンテストは下記の日程で開催します。

日時：12月2日（土）13：00～（予定）

会場：三田キャンパス 三田演説館

主催：KOSMIC（国際センター塾生機構）

後援：国際センターほか

※入場無料／事前申込み不要。詳細は11月頃「慶應義塾大学国際センター」Web サイト、イベント欄に掲載します。



慶應義塾長賞・小泉体育奨励賞の募集

掲題の各賞について、2023年度の候補者を募集します。詳しい要件等については、キャンパス内の掲示板や塾生 Web サイトを必ず確認してください。応募には本学教員による推薦書（指定書式）等の提出が必要です。

慶應義塾長賞

この賞の目的は、学生の広範囲な活動のうち、学業成績や体育活動とは別に、学術・芸術・社会活動・文化活動等の多様な分野において、学生の範となる活躍をし、その行為が当人の荣誉であるばかりでなく、慶應義塾にとっても光輝ある業績と認められるものについて、これを広く義塾内外に知らしめ、顕彰することにあります。

対象：学部学生・大学院生による学術・芸術・社会活動・文化活動等に関する活躍で、原則として2023年1月から12月の間に学生の範となる顕著な成果を挙げたことが明らかになったもの。

※ 正課およびそれに準ずる活動は原則対象外（詳細については募集要項を確認すること）。

応募期限：2024年1月5日（金）

小泉体育奨励賞

この賞は、人物が優秀、かつ健康であり、スポーツを通じて義塾の名声を高めた体育会所属以外の団体または個人を表彰するために制定された賞です。

対象：学部学生・大学院生のうち、2023年1月から12月の間に顕著な成果を挙げた体育会所属以外の団体または個人。

応募期限：2023年11月13日（月）

※応募期限以降に大会等が開催される場合は、必ず事前に申し出てください。

〈各賞共通応募・問合せ先〉 各キャンパス学生部・学生課・事務室学生生活担当

▶特集では注目されているAIを取り上げ、研究者や学生に対談していただきました。「情報の『食育』」や「AIリテラシー教育」をはじめ、AIとの向き合い方など、正鶴を射た数々の意見に共感を覚えます。Open AI社CEOのサム・アルトマン氏が6月に来塾した際、「これから教育が大きく変わる。我々は技術をうまく活用すべきだ」と塾生に話したのが印象的でした。

▶第105回全国高等学校野球選手権記念大会で慶應義塾高等学校が107年ぶりの優勝旗を手にしたのは記憶に新しいところです。球場で自ら考えてプレーする選手とそれを声援で支える人たちとの一体感は、義塾社中のあり方そのものでした。優勝に向けて勇往邁進した瞬間を分かち合えたこと、感謝の念に堪えません。
(広報室長 山崎敬夫)

次号(321号)の発行は
1月1日予定

通巻 第320号
編集人 山崎敬夫
発行人 岩谷十郎
発行所 慶應義塾
2023年10月15日発行

お問い合わせ等は以下へお願い
します(住所変更は必ず学生部
へお届けください)。

〒108-8345
東京都港区三田2-15-45
慶應義塾広報室「塾」編集部
Tel 03-5427-1541(直)
Fax 03-5441-7640
m-juku@adst.keio.ac.jp



※バックナンバー
(2011年以降)は
こちら

奨学金

□日本学生支援機構奨学金の継続手続きについて(給付奨学金・貸与奨学金受給者)
次年度の奨学金の継続を希望する奨学生は、keio.jpのメールアドレス宛にお知らせする案内に従い、手続きしてください。期間内の手続きを怠った場合は「奨学金の廃止(交付打ち切り)」となります。

手続き期間: 2023年12月~翌1月(予定)

手続き方法: Web上での「奨学金継続願」の提出

□「高等教育の修学支援新制度」授業料減免の継続手続きについて

「高等教育の修学支援新制度」の支援を受けており、次学期も本制度の授業料減免の継続を希望する学生は、keio.jpのメールアドレス宛にお知らせする案内に従い、手続きしてください。期間内の手続きを怠った場合は、授業料減免が停止となります。

手続き期間: 2023年12月~翌1月(予定)

手続き方法: 対象者に別途案内します。

□日本学生支援機構奨学金の返還手続きについて(貸与奨学金受給者)

2024年3月に奨学金の貸与が満期となる奨学生は、10月から12月にかけて返還の手続き(「リレー口座」への加入)を行ってください。なお、返還金は、再び奨学金として後輩に貸与されることとなりますので、遅滞なく返還してください。

手続き

□休学願の提出について

今年度分の休学願の提出締切日は、11月30日(木)です。休学願の提出にあたっては、学部・研究科によって手続き方法が異なりますので、所属するキャンパスの学事担当部署または事務室の学部・研究科担当に、早めに相談してください。

就職・進路

□就職イベントの開催について(学部3年生・修士1年生対象)

今年度も昨年度に引き続きWeb配信で開催いたします。すでに2024年度卒業予定者向けのイベントの配信を開始しており、随時情報を更新します。動画の閲覧方法や今後予定する内容については、以下の塾生サイトよりご確認ください。

URL <https://www.students.keio.ac.jp/com/career/service/guidance.html>



授業

□三田祭期間中の授業の取扱いについて

11月21日(火)午後から27日(月)は三田祭による休講期間です。詳細は、塾生サイト、keio.jpポータルなどで確認してください。

□休日の授業について

11月3日(金・祝)「文化の日」は授業を行います。

□学事日程における補講日について

授業回数の確保・調整のため、補講日を設けています。キャンパスや学部・大学院によって日程が異なりますので、塾生サイト、keio.jpポータルなどで確認してください。